

## 各教科の結果について



各教科の平均正答率は、全国・県と同程度でした。  
ここでは本市として、「よくできたこと」と「課題が見られたこと」をお知らせします。  
各学校では、今回の結果を分析し、学力向上に取り組んでいきます。

### ○よくできたこと

#### 小学校4・5・6年

- 国語： 叙述を基に文章の内容を捉えること
- 算数： 基本的な四則計算をすること
- 理科： 身近な自然現象に関する基本的な知識を理解すること

#### 中学校2・3年

- 国語： 条件に従って自分の考えを書くこと
- 社会： 社会的事象についての基礎的な内容を理解すること
- 数学： 基本的な四則計算をすること
- 理科： 身近な自然現象に関する基礎的な知識・技能が身に付いていること
- 英語： 目的に応じて、必要な情報を聞き取ること

基礎的・基本的な内容の理解についてはおおむね良好でした。



### ▽課題が見られたこと

#### 小学校4・5・6年

- 国語： 目的に応じて、条件に合うように書くこと
- 算数： 場面や数量の関係を捉え、示された考えをもとに、言葉や数を用いて説明すること
- 理科： 観察・実験の結果をまとめた図や表を活用して判断したり、推測したりすること

#### 中学校2・3年

- 国語： 複数の資料から必要な情報を読み取り、結び付けて考えること
- 社会： 複数の資料から社会的事象の課題について考察し、根拠をもとにして説明すること
- 数学： 事柄が成り立つ理由について、筋道を立て、根拠をもとに説明すること
- 理科： 身に付けた知識と表やグラフ、イメージ図等とを関連付けて考えること
- 英語： 言語の働きを理解し、目的に応じた表現を正しく書くこと

複数の知識や情報を関連させて考えを深めることや、筋道を立てて説明をすることに課題が見られました。



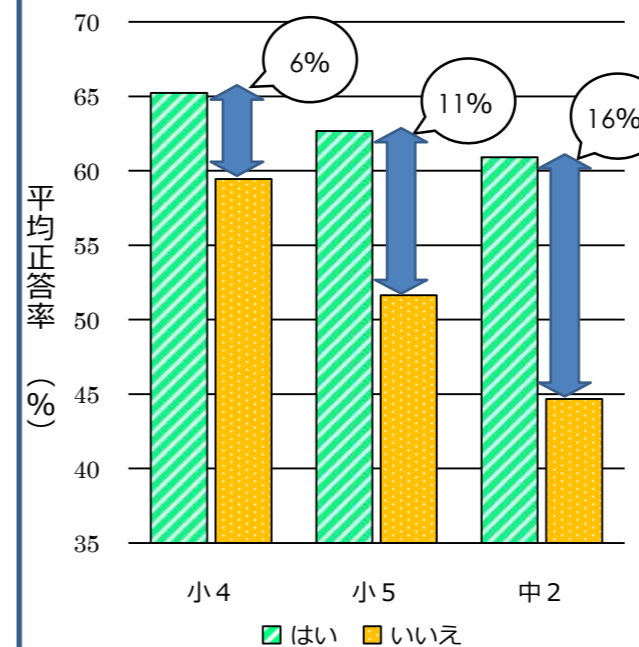
★小4・5はとちぎっ子学習状況調査（国語・算数・理科実施）、小6は全国学力・学習状況調査（国語・算数実施）  
中2はとちぎっ子学習状況調査（5教科実施）、中3は全国学力・学習状況調査（国語・数学・英語実施）

## 学習状況調査の結果について



児童生徒質問紙の回答と平均正答率の関係をみると、家庭でも学習した内容を復習したり、繰り返し取り組んだりする習慣のある児童生徒は平均正答率が高い傾向にあります。  
また、早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的な生活習慣が身に付いている児童生徒は平均正答率が高い傾向にあります。

### 家で、学校の授業の復習をしている

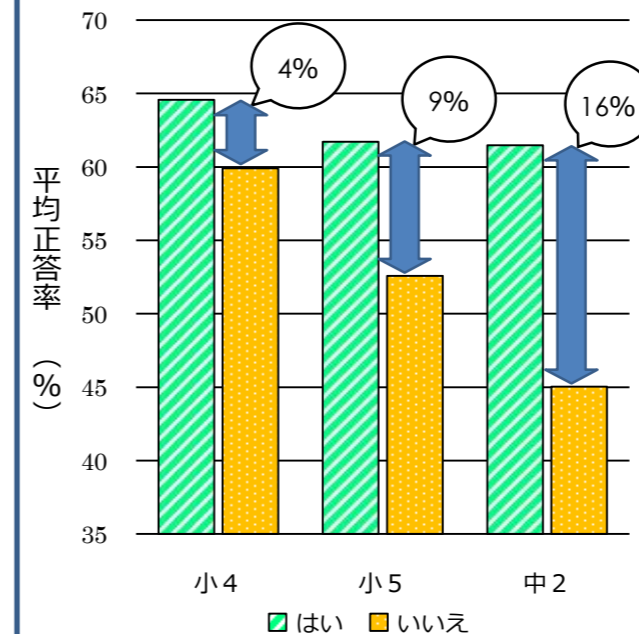


授業で学習した内容やテストで間違えた問題を家庭でも復習したり、やり直したりすることは、学んだことの定着につながっています。

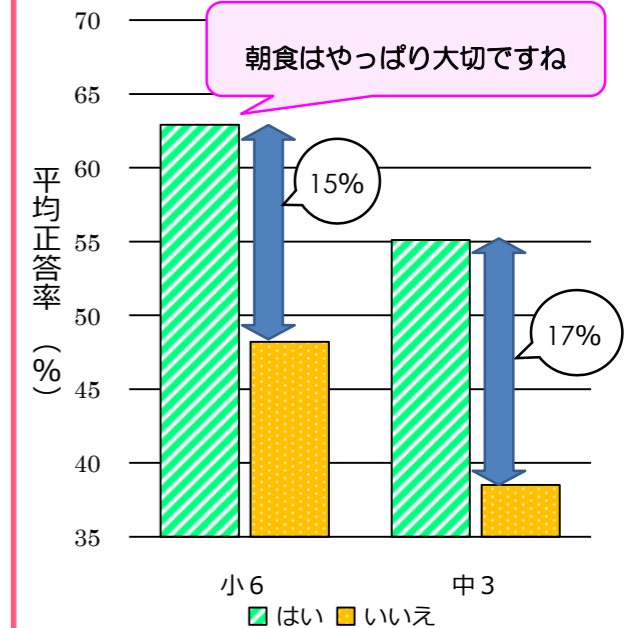


問題をもう1回解いてみよう！

### 家で、テストで間違えた問題について勉強をしている



### 朝食を毎日食べている



朝食はやっぱり大切ですね

グラフの見方：児童生徒質問紙における回答内容と平均正答率との関係を示しています。